

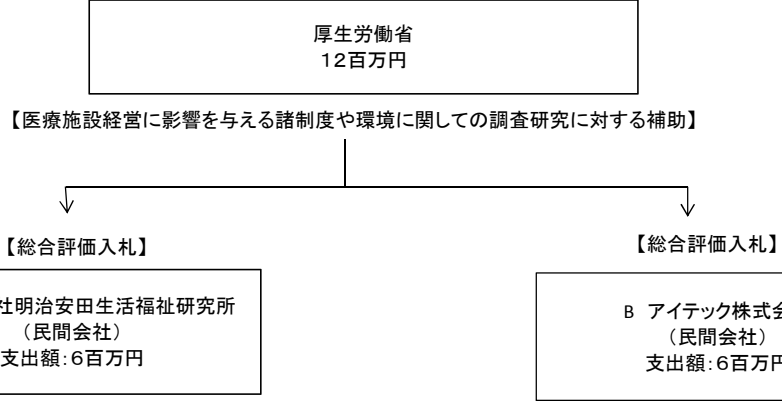
平成28年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	医療施設経営安定化対策費			<b>担当部局庁</b>	医政局		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	平成11年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	医療経営支援課		課長：佐藤美幸			
<b>会計区分</b>	一般会計									
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	-			<b>関係する計画、通知等</b>	-					
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費					
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	医療施設をとりまく諸制度や環境の変化が医療施設経営に与える影響を調査研究し、その結果を医療施設等関係機関に情報提供することにより、医療施設の経営改善にかかる自助努力を支援し、もって医療施設の質の向上とともに健全な経営の安定化を図ることを目的とする。									
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	医療施設経営に影響を与える諸制度や環境に関して、調査課題を設定した上で、民間シンクタンクの調査ノウハウ等を活用して調査研究するものである。									
<b>実施方法</b>	委託・請負									
<b>予算額・執行額(単位：百万円)</b>		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
	予算の状況	当初予算	17	18	16	15	15			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計	17	18	16	15	15				
	執行額	10	11	12	-					
執行率(%)	59%	61%	75%	-						
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度	
	医療施設等関係者機関に情報提供することにより、医療施設の経営改善にかかる健全な経営の安定化を図る。	医療法人等の赤字病院の割合	成果実績	%	35.2	52.9	29年度集計予定	-	-	
			目標値	%	-	35.2	52.9	-	前年度以下	
			達成度	%	-	66.5	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	平成27年度は「病院経営管理指標及び医療施設における経営実態に関する調査研究」、「医療法人と自治体病院等との連携の状況に関する調査研究」の2つの調査研究について、それぞれ株式会社明治安田生活福祉研究所、アイテック株式会社に委託。調査研究結果を周知するため、各都道府県に報告書を送付した件数を活動実績とした。			活動実績	冊	282	282	282	282	
				当初見込み	冊	282	282	282	282	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	単位あたりコスト=X/Y			単位当たりコスト	円	8,945,000	8,775,000	8,005,000	7,627,000	
	X:「医療経営安定化対策費」 Y:「テーマ数」			計算式	X/Y	16,990,000/2	17,550,000/2	16,010,000/2	15,254,000/2	
<b>平成28・29年度予算内訳(単位：百万円)</b>	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	保健福祉調査委託費	15	15							
	計	15	15							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること									
	施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること									
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 28 年度		
		医療施設等関係者機関に情報提供することにより、医療施設の経営改善にかかる健全な経営の安定化を図る。	実績値	%	35.2	52.9	29年度 集計予定	-	-		
		指標: 医療法人等の赤字病院の割合	目標値	%	-	35.2	52.9	-	-	前年度以下	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	病院経営管理指標等の提供により、各病院が地域における自院の機能や経営上の各種課題に対して、客観的数値に基づいた実態把握や合理的・効率的な対処が可能となった。一方で、少子化の進展や診療報酬の切り下げにより経営環境は悪化し続けていることから、経営管理指標等の更なる活用により病院運営の効率化・安定化が必要となっている。										
	改革項目	分野:	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-		
目標値		-	-	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
	成果実績	-	-	-	-	-	-	-			
	目標値	-	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要性	項目				評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	医療施設の経営安定化は国民の生命にも関わる問題であり、広く国民のニーズがあるため、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	調査研究は全国各地方にある医療機関が対象であり、国が実施すべき事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	持分なし医療法人への移行制度を調査研究したり、医療機関の経営状態を把握するなど、優先度の高い事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○						
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無	総合評価落札方式を採用し、一社応札や一社応募もないため、妥当。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。				-						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	コスト削減に努めており、水準は妥当である。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-						
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	調査研究等に係る必要最小限なものに限定されている。					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				○	事業者のコスト削減の徹底によるものである。						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				○	調査に関するアンケートの送付及び回収については、ホームページから行えるようにし、コスト削減や効率化を図った。						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				○	医療法人等の赤字病院の割合を示すことで経営状況を周知し、経営の安定化に関する意識を高めている。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				○	人件費や会場賃借料を削減して低コストで行っている。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				-						
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				○	都道府県等に配布するとともに、ホームページへ掲載することにより、広く活用できるよう努めている。					
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-						
	所管府省・部局名	事業番号	事業名								
-	-	-									
-	-	-									

点検・改善結果	点検結果	平成27年度事業においても経営管理指標を作成し、病院経営に関する様々な指標について各医療機関に周知し、自院の機能や経営上の各種課題を把握させることにより、経営の効率化等に寄与することができた。なお、指標等の調査研究報告書については各都道府県に配布し厚生労働省のホームページにも掲載している。			
	改善の方向性	医療機関の経営状況の把握や政策的に重要なテーマを調査研究し、ホームページ上で公開してきた。それらを医療コンサルティング会社や医療機関が活用することで、今後も調査研究が有益なものになるよう引き続き適正な執行に努めたい。			
<b>外部有識者の所見</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトカムとして赤字病院割合を前年度以下に設定しているが、診療報酬改定等の制度変更等により赤字病院の割合が大きく増減する中で本事業のアウトカムとして有効とはいえないことから、指標を再検討すべきではないか。</li> <li>・配布・公表された報告書が活用されているか、医療事業者のニーズに合致したテーマ設定等がなされているか把握し、本事業の有用性を検証しながら進めること。</li> <li>・総合評価入札への複数応募によりコスト削減に努めている。その結果、執行額が毎年予算を下回って推移していることから、執行実績を参考に、引き続き適正な予算額に見直しを行うこと。(栗原 美津枝)</li> </ul>					
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>					
事業内容の改善	外部有識者の所見も踏まえ、アウトカム指標を見直し、事業効果を検証する仕組みを構築することが必要と考えられる。				
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>					
現状通り	<p>テーマ設定や有用性に関しては、本委託事業の企画検討委員会(医療関係団体や公認会計士も参加する委員会)において、専門的な見地も踏まえて十分に検討して参りたい。予算額については、今年度1回目の入札が不落となったことに注意しつつも、前年度の執行実績および次年度の委託内容を踏まえて、適正な金額となるようにして参りたい。</p> <p>また、アウトカム指標に関しては、事業効果の検証をより適切に行える指標(例えば『当該経営管理指標を利用した法人等の割合』など)を検討していく予定であるが、当該指標を算出するために、調査項目を追加するなどの必要があるため、指標の見直しについては来年度のレビューから実施予定として参りたい。</p>				
<b>備考</b>					
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>					
平成22年度	46	平成23年度	39	平成24年度	39
平成25年度	18	平成26年度	17	平成27年度	15

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



(医療施設経営に影響を与える諸制度や環境に関して委託研究し、医療施設等関係機関に情報提供するもの)

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.株式会社明治安田生活福祉研究所			B.アイテック株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	人件費	2.8	賃金	人件費	4.9
その他	諸謝金、印刷製本費、通信運搬費等	2.6	その他	謝金、印刷製本費、通信運搬費等	0.5
交通費	委員等旅費	0.2	交通費	委員等旅費	0.2
計		5.6	計		5.6

